

平成28年4月4日  
国土政策局総合計画課

これからの国土の形成に向けて寄せられた提案（作品）から、  
着眼点や個性に優れた4作品を選定！  
～『日本未来デザインコンテスト』の公開審査会を終えて～

国土交通省は、3月25日、日本未来デザインコンテストの公開審査会（奥野信宏審査員長）を開催し、新たな国土形成計画の基本構想である「対流促進型国土」の形成に向けた提案（作品）から、最優秀作品賞2点、優秀作品賞1点、審査員特別作品賞1点をそれぞれ決定しました。

「対流促進型国土」の形成に向けた政策立案に資するアイデアを、様々な世代、個人・団体より公募の上、事務局審査を通過した9点により、優秀と認められた4点の受賞を決定しました。  
※4つのアイデアについては、別添（「詳細」は、国土交通省ホームページに提示）をご覧ください。

1. 有識者審査員：奥野 信宏 氏、垣内 恵美子 氏、橋本 哲実 氏
2. 受賞作品：次の通りです。（※授賞式は後日開催します。）
  - (1)最優秀作品賞／①「千里ニュータウンにおける新規地方産業の創出」  
・代永 彩夏、山田 祥平、林 太一、的崎 託也（大阪府吹田市）  
②「生涯現役で環境保全と交流に取り組む」  
・平山 善規、渡辺 孝義、橋本 ヤス子（大分県杵築市）
  - (2)優秀作品賞／「国民総分人化計画 ～分散化する地元、職場、故郷～」  
・菊地 映輝（東京都中央区）
  - (3)審査員特別作品賞／「伝統をずっと。新しいをもっと。」  
・樽谷 茉莉江、田島 佳苗（神奈川県）



受賞者、プレゼンター及び審査員の皆様との記念撮影

【問い合わせ、連絡先】国土交通省国土政策局総合計画課（担当：仙崎、中田）  
（代表）03-5253-8111（内線：29317）  
（直通）03-5253-8356（FAX）03-5253-1570

## &lt;公開審査結果&gt;

## 【最優秀作品賞：2点】

## ○千里ニュータウンにおける新規地方産業の創出

- ・代永 彩夏、山田 祥平、林 太一、的崎 託也(大阪府吹田市)
- ・大規模ニュータウンにおける人口減少とその空き家活用方策(特に、「食」)に着眼
- ・ニュータウンの「空き家」を活用して、植物工場として再利用する「Made in 千里ニュータウン」を提案
- ・空き家での植物工場には、創エネルギーによる、エネルギーの自給自足を目指す
- ・空き家植物工場の運営により、コミュニティの場の創出も目指す



## ○生涯現役で環境保全と交流に取り組む

- ・平山 善規、渡辺 孝義、橋本 ヤス子(大分県杵築市)
- ・日本の田舎における外国人旅行者をきっかけにした「対流」の発生に着眼
- ・田舎にいる高齢者が、出来る範囲での畑作業や地元料理でお小遣い程度を稼ぎ、外国人との交流を図る
- ・「農業振興が、介護予防や国土保全、そして新たな対流に繋がるとの考え



## 【優秀作品賞：1点】

## ○国民総分人化計画 ～分散化する地元、職場、故郷～

- ・菊地 映輝(東京都中央区)
- ・「国民総分人化計画」を提案し、同計画は、一人が一つの場所に帰属する状態(1対1対応)から、一人が「分人」として日本全国の複数の場所に帰属する(1対N対応)ようにさせる計画
- ・帰属先(アイデンティティ)を分散させ、日本全国に分人として自らを帰属させることで、対流を促進させる



## 【審査員特別作品賞：1点】

## ○伝統をずっと。新しいをもっと。

- ・樽谷 茉莉江、田島 佳苗(神奈川県)
- ・次の世代を担う若者が各地域の特性を活かして活性化させることにより、日本全体の生産性を高めるとの提案であり、人が地域にも移動し、半永久的に続く国土となるとの考え
- ・公募テーマの“人口減少下においても持続可能な国土管理”より、「ギャップイヤー」の活用を提案
- ・海外では主に1年間が主流だが、日本の学生が大学に合格してから入学するまでの期間は約1か月である。その期間で若い学生を地域の活性化に用いる

